

令和6年度 志賀町がん検診等のお知らせ

がん検診は「がんの早期発見・治療」を目的に実施しています。検診日程を確認の上、「がん検診受診券・検診費用」を持参し受診してください。

検診の結果、精密検査が必要となった場合には、必ず精密検査を受けましょう。すでに自覚症状のある人は、検診ではなく医療機関での受診をお勧めします。

胃がん検診（バリウム検査）

◇対象者：40歳以上の人

◇検診費用：500円

検診バスに乗り、バリウム（造影剤）を飲み、検査台の上で体の向きをかえながら胃部のエックス線撮影し、胃の中を観察する検査です。胃がんは50歳代からかかる確率が増加し、我が国のがんによる死亡原因の上位に位置していますので、継続受診が重要です。

～ 注意事項 ～

○検診前日の夜9時以降は飲食をせず、入れ歯安定剤の使用も止めておいてください。

○検診当日は朝食・タバコ・アメ・ガム等も控えてください。

（検査1時間前までならコップ1杯（200ml）程度の水を飲まれても構いません。）

○当日の服装は着脱のしやすいものにし、検査の妨げとなる金属・プラスチック類が付いたものは避けてください。

○何らかの疾患をお持ちの人は、事前に主治医に胃バリウム検査受診の可・不可、検査当日の内服薬の服用等をご確認のうえで、慎重に受診をご検討ください。

※高血圧・心臓病など主治医から指示されている薬は、検査を受ける1時間前までにコップ1杯程度の水で内服してください。ただし、糖尿病で治療中の人は、検査当日の朝、糖尿病の薬の服用やインシュリン注射をしないでください。内服薬の服用やインシュリン注射に関しては、事前に主治医にご相談ください。

★ 胃バリウム検査による合併症および事故防止のため ★

下記に該当する人は胃バリウム検査を受けることができません。また、便秘症の人はバリウム検査後に便の排出が遅れることで腸閉塞や腸穿孔など重篤な合併症を起こす恐れがあるため、胃バリウム検査はお勧めできません。

- ※バリウム製剤や下剤にアレルギーがある人
- ※透析中、慢性腎疾患、心疾患で水分制限がある人
- ※腸閉塞、腸捻転の既往がある人
- ※現在、消化管系の炎症性疾患・潰瘍性疾患の治療をしている人
- ※お腹の手術を1年以内にした人
- ※検査当日を含み3日以上便秘が続いている人
- ※検査前夜、9時以降に飲食した人
- ※検査当日、糖尿病の薬を服用またはインシュリン注射をした人
- ※意思疎通が困難な人、寝返り回転が困難な人
- ※妊娠中、または妊娠の疑いがある人（授乳中の人は要相談）
- ※日常的に食物や飲物が飲み込みにくく、むせやすい傾向にある人
- ※体重が135kg以上ある人
- ※インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着している人

胃がんリスク検査（ピロリ菌、ペプシノゲン検査）

◇対象：令和6年度中に40歳になる人※別途、案内通知します。◇検査費用：300円

胃がんなどの胃疾患にかかるリスクを判定する検査（血液検査）です。胃がんそのものを発見する検査ではありません。胃がん検診または胃がんリスク検査のどちらかを選択して受診ください。

～裏面もお読みください～

肺がん・結核検診（胸部エックス線検査、喀痰検査）

◇対象者：40歳以上の人（喀痰検査は50歳以上のハイリスク者※）

◇検診費用：200円（喀痰検査200円）

検診バスに乗り、胸部のエックス線撮影を行う検査です。肺がんは死亡数が男女あわせて一番多いがんです。40歳以上の方は肺がんの早期発見、65歳以上（特に80歳以上）の方は結核の早期発見のために自覚症状がなくても年1回はエックス線検査を受けましょう。

※喀痰検査は問診の結果必要と判断された人が対象となる痰の検査です（胸部エックス線検査は必須）。

※喫煙（受動喫煙含む）で肺がんのリスクが高まりますので注意が必要です。

○当日の服装は、金属・プラスチック類（ボタン・ホック・ファスナー）やプリントのないものを準備いただくと便利です。

○妊娠中、または妊娠の疑いがある人は受診できません。

○インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着している人は受診できません。

大腸がん検診（便潜血検査）

◇対象者：40歳以上の人

◇検診費用：300円

便に混じった目に見えない微量な血液を検出する検査です。大腸がんは近年増加傾向にあり、女性で1位、男性でも2位のがん死亡原因となっています。無症状のうちに、毎年受診することが重要です。

○会場で検査容器をお渡ししますので、自宅で2日分の便を採取し提出（保健福祉センター、富来支所）してください。

○検診会場のほか保健福祉センター、富来支所でも検査容器を発行します（6月5日～11月末まで）。

○食事制限もなく自宅で行える手軽な検査です。

○生理期間中の方は採便しないでください。

肝炎ウイルス検診（B型・C型肝炎ウイルス検査）

◇対象：令和6年度中に40、41、46、51、56、61歳になる人
（ただし、これまでに肝炎ウイルス検査を受けたことがない人）

◇検診費用：無料

肝炎の早期発見・早期治療を目的に検査（血液検査）します。多くは自覚症状がなく、ウイルス感染によって慢性的な炎症が続くと、肝硬変や肝がんに行進する可能性があります。

前立腺がん検診

◇対象：令和6年度中に51、56、61、66、71歳になる男性

◇検診費用：（集団検診）500円（町内医療機関※）1,000円

※町内医療機関で受診する場合は、特定健診との同時受診が必須です。

採血のみの検査で、血液中にある前立腺に特異的なタンパク質の一種「PSA」の値を測定します。前立腺がんは、男性のがんで50歳を過ぎると急増しています。

◇検診はがん発見等に有効な検査ですが、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）や、がんでなくても要精密検査と判定されること（偽陽性）があります。

◇女性がん検診については、後日、対象者へご案内いたします。

【問い合わせ先】志賀町保健福祉センター TEL 0767-32-0339